



- インフォメーション・交流館
- ワークキングスペース
- 郵便局
- EV充電スポット
- ガソリンスタンド
- コンビニエンスストア
- 複合施設
- ショッピング施設
- 宿泊施設
- 役場
- 公共施設
- 学校
- 病院・診療所
- 公園・屋外体育施設
- プール・屋内体育施設
- 子どもの遊び場
- キャンプ場
- カフェ・飲食・居酒屋
- 温泉・浴場施設
- 工業施設・研究施設
- トイレ
- Wi-Fi
- 国道
- 高速道路
- 県道
- 全面通行止
- 自転車・徒歩通行不可
- 四輪のみ通行可能
- 特定復興再生拠点
- 津波浸水域

川俣町

- 道の駅かわまた
- 川俣町役所
- 川俣シャモ
- 川俣野馬
- 川俣野馬

飯館村

- 道の駅なみえ
- 飯館村役所
- 飯館村立までの道の駅
- 飯館村立までの道の駅

南相馬市

- 道の駅南相馬
- 南相馬市役所
- 南相馬市立までの道の駅
- 南相馬市立までの道の駅

浪江町

- 道の駅なみえ
- 浪江町役所
- 浪江町立までの道の駅
- 浪江町立までの道の駅

田村市

- 道の駅なみえ
- 田村市役所
- 田村市立までの道の駅
- 田村市立までの道の駅

葛尾村

- 道の駅なみえ
- 葛尾村役所
- 葛尾村立までの道の駅
- 葛尾村立までの道の駅

双葉町

- 道の駅なみえ
- 双葉町役所
- 双葉町立までの道の駅
- 双葉町立までの道の駅

大熊町

- 道の駅なみえ
- 大熊町役所
- 大熊町立までの道の駅
- 大熊町立までの道の駅

川内村

- 道の駅なみえ
- 川内村役所
- 川内村立までの道の駅
- 川内村立までの道の駅

富岡町

- 道の駅なみえ
- 富岡町役所
- 富岡町立までの道の駅
- 富岡町立までの道の駅

小野町

- 道の駅なみえ
- 小野町役所
- 小野町立までの道の駅
- 小野町立までの道の駅

いわき市

- 道の駅なみえ
- いわき市役所
- いわき市立までの道の駅
- いわき市立までの道の駅

楡葉町

- 道の駅なみえ
- 楡葉町役所
- 楡葉町立までの道の駅
- 楡葉町立までの道の駅

広野町

- 道の駅なみえ
- 広野町役所
- 広野町立までの道の駅
- 広野町立までの道の駅

かわまたまち 川俣町

1955年1町7村が合併して誕生しました。豊かな自然に囲まれ、花塚山からは富士山が見えます。シルク、ブランド地鶏、中南米音楽祭など川俣ならではの歴史、伝統、文化や特産品に溢れ、震災後も南国の花の栽培に取り組みなど、復興の歩みも着実に進んでいます。

面積	127.70 km ²	人口	11,517人
実際の居住者数	3,322人	震災前人口比	(2022.10.1時点) 26.5%

川俣町には
おいしいものや面白いものがたくさんあるよ！ぜひ遊びに来てね！

川俣復興の象徴アンズルーム

高麗の宇宙(そら)そば粉

川俣ジャモ

伊太チヤン

2011.3.11- 2011.4.11- 2013.5.31- 2016.1.31- 2017.3.31- 2018.10- 2020.3-11-

いいたむら 飯館村

1956年に飯館村と大館村が合併して誕生。阿武隈山系北部の高原に位置し、村の75%を山林が占め、北は真野川、中央は新田川と飯館川、南部は比曾川の流域に集落を形成しています。全村避難を余儀なくされましたが、少しずつ住民の帰還が進んでいます。

面積	230.13 km ²	人口	4,882人
実際の居住者数	1,511人	震災前人口比	(2022.9.30時点) 23.2%

飯館村は
「明日が待ち遠しくなる、わくわくするふるさと」を目指しているんだネ!

飯館産黒毛和牛ハンバーグ

なつはぜジャム

2011.3.11- 2011.4.11- 2011.4.21- 2017.3.31- 2018.4- 2022.5- 2023.5-

みなみそうまし 南相馬市

2006年小高町、鹿島町、原町市が合併して誕生。千年以上の歴史を持つ国指定重要無形民俗文化財「相馬野馬追」やサーフィンの名所「北浪海岸」が知られています。2016年に一部の山崩れを除いて避難指示が解除され、復興に向けて歩んでいます。

面積	398.58 km ²	人口	57,722人
実際の居住者数	3,833人	震災前人口比	(2022.10.31時点) 29.9%

南相馬市は
馬と人の距離が近いまち。野馬追の季節には馬が公道を歩く姿が見られます。

小高一味

南相馬市は馬と人の距離が近いまち。野馬追の季節には馬が公道を歩く姿が見られます。

2011.3.11- 2011.4.22- 2011.7.23- 2015.4.25- 2016.7.12- 2019.7.20-

なみえまち 浪江町

浪江町は、豊かな自然に囲まれ、大堀相馬焼やなみえ焼そばで知られています。2017年の一部地域の避難指示解除後、道の駅なみえのオープン、鎌戸漁港の再開、水産利用の取組が注目を集めて町に活気と賑わいが戻りつつあり、着実に復興を進んでいます。

面積	223.14 km ²	人口	15,702人
実際の居住者数	1,917人	震災前人口比	(2022.9.30時点) 8.9%

うまいもんが増えたよ!
お花もキレイ♪ワクワクいっぱい浪江町さ遊びにおいでね~!

大堀相馬焼

2011.3.11- 2011.4.11- 2011.5.31- 2017.3.31- 2017.4.11- 2021.3.20- 2021.10.24- 2023春-

2011.3.11- 2011.4.11- 2013.5.31- 2016.1.31- 2017.3.31- 2018.10- 2020.3-11-

2011.3.11- 2011.4.11- 2011.4.21- 2017.3.31- 2018.4- 2022.5- 2023.5-

2011.3.11- 2011.4.22- 2011.7.23- 2015.4.25- 2016.7.12- 2019.7.20-

2011.3.11- 2011.4.11- 2011.5.31- 2017.3.31- 2017.4.11- 2021.3.20- 2021.10.24- 2023春-

かつらおむら 葛尾村

標高約400mの高原に位置する葛尾村。北西部には江戸時代に栄えた松本一族の邸宅跡があり、当時の石垣や池など往時を偲べます。震災後の全村避難を経て、胡蝶蘭栽培や羊肉、アーティスト移住定住事業など、新たな取り組みに挑戦しています。

面積	84.37 km ²	人口	1,314人
実際の居住者数	467人	震災前人口比	(2022.10.1時点) 29.8%

村にかかわる
すべての人が家族しみ~人のつながりがあたたかい葛尾村に来てしみ~!

ホープホワイト

2011.3.14- 2011.3.15- 2011.6.26- 2016.6.12- 2017.6.11- 2018.4.6- 2021.3- 2022.6.12-

たむらし 田村市

2005年に滝根町、大越町、都路村、常葉町、船引町の5町村が合併して誕生。阿武隈山系の中央に位置し、鍾乳洞探検や登山など豊かな自然と暮らす心温まるまちです。避難対象となった都路町などで農畜産業の復興が進み、新たな特産品が生まれています。

面積	458.33 km ²	人口	33,809人
実際の居住者数	1,883人	震災前人口比	(2022.8.31時点) 62.7%

田村市は
豊かな自然と文化と美味しい食べ物に恵まれてるカブー!

2011.3.11- 2011.9.30- 2014.4.1- 2014.4.6- 2019.3.17- 2020.9-

おおくままち 大熊町

大熊町は1954年に大野村と熊野村が合併して誕生し、震災前は梨やキウイ、鮭が特産でした。震災後は全町避難が続きましたが、2019年4月に一部避難指示が解除され、2021年には商業施設・宿泊施設もオープン。町内の生活環境整備が進んでいます。

面積	78.71 km ²	人口	10,002人
実際の居住者数	408人	震災前人口比	(2023.1.1時点) 3.6%

大熊町の復興は
始まったばかり。新生大熊町に来てほしいクマー~!

2011.3.11- 2011.4- 2019.4.10- 2021.10.17- 2022.6.30- 2023.4-

ふたばまち 双葉町

新山町と長塚村が合併した双葉町が1956年に改称して誕生。海と山に抱かれた豊かな自然を誇ります。2022年8月の避難指示解除によりようやく町内の居住が可能となりました。駅前に役場新庁舎もオープンし、復興の加速化を進めています。

面積	51.42 km ²	人口	5,536人
実際の居住者数	60人	震災前人口比	(2023.1.1時点) 0.84%

七転び八起きの精神で復興を進める双葉町。
これからの双葉町に注目してくださいね!

2011.3.11- 2013.6.17- 2020.3- 2020.10.1- 2022.8.30-

かわうちむら 川内村

1889年に上川内村と下川内村が合併して誕生。木戸川・富岡川・熊川の源流を持ち、清らかな水あふれる村です。村の西側には阿武隈高原最高峰の大湯根山が聳立ちます。震災後、いち早く帰村し、ワイン事業など新たな産業を呼び込み復興を加速させてきました。

面積	197.35 km ²	人口	2,382人
実際の居住者数	1,970人	震災前人口比	(2022.9.1時点) 64.8%

緑豊かな川内村!
きれいな渓流にはいわなが泳ぎゆっくりとした時間を過ごせるよ~

2011.3.11- 2011.4- 2011.12.14- 2012.1.31- 2014.10.1- 2016.4.30- 2016.6.14-

とみおかまち 富岡町

全長2.2kmに及ぶ夜の森の桜並木を町のシンボルとする富岡町は、浜通りの中央に位置し、四季を通じて過ごしやすい町です。2017年に帰還困難区域を除く避難指示が解除され、商業施設や小学校、漁港が再開し、復興に向けた歩みを着実に進んでいます。

面積	68.39 km ²	人口	11,824人
実際の居住者数	2,063人	震災前人口比	(2022.10.1時点) 13%

夜の森の桜の道を
全部歩けるようになったら桜の木で待ってるっ!

2011.3.11- 2011.4.11- 2011.4.14- 2017.4.1- 2019.7.26- 2020.3.10- 2022.1.26-

ならはまち 楡葉町

1956年に木戸村と竜田村が合併して誕生。町内には井出川と鮭や釣り知られる木戸川が流れています。町の全域が避難指示区域になりましたが、2015年には全て解除され、現在、町は新しいチャレンジに溢れるまちづくりを進めています。

面積	103.64 km ²	人口	6,649人
実際の居住者数	4,265人	震災前人口比	(2022.9.30時点) 53.2%

新しいチャレンジが
次々に生まれる町へ! ぼくはYouTuberをめざして町の見どころを発信中!

2011.3.11- 2012.4.6- 2012.8.10- 2013.5.10- 2014.5.26- 2015.9.5- 2018.6.26-

ひろのまち 広野町

6ヶ村が合併した広野町が1940年に広野町となって誕生。中心部にみかん、山間部に蜜柑とみかんの花が咲く。町の情景となった郷土地区があります。2012年3月町長発令の避難指示解除後は駅東側地区や中高一貫校が整備され、各種イベントも再開しています。

面積	58.69 km ²	人口	4,679人
実際の居住者数	4,224人	震災前人口比	(2022.12時点) 76.9%

教育の丘に子育てで
教育環境が集う広野町は安心して子育てができるまち

2011.3.11- 2011.4.15- 2011.8.25- 2012.3- 2012.8.27- 2012.10.15- 2016.3.10-

12市町村、3.11からの歩み 2011.3.11-2023年春

2013年8月8日時点

2023年8月30日時点

2011年 3月11日	14:46-15:42	マグニチュード9.0の大地震発生。地震・津波の甚大な被害。東電が福島第一原子力発電所(以下「福一」)について「原子力災害対策特別措置法第10条(全交流電源喪失)通報」を発令。
	19:03-21:23	福一から半径3km圏内住民へ避難指示、半径10km圏内住民へ屋内退避指示
	3月12日	05:44 避難指示範囲を福一から半径10km圏内に拡大 07:45 福島第二原発から半径3km圏内の住民へ避難指示、半径10km圏内の住民へ屋内退避指示
		15:36 福一1号機で水素爆発 17:39 福島第二原発から10km圏内に避難指示 18:25 福一から半径20km圏内の住民に避難指示
	3月14日	11:01 福一第3号機で水素爆発
	3月15日	06:14 福一第4号機で水素爆発 07:15 福島第二原発の原子炉が全て冷温停止に 11:00 福一から半径20-30km圏内の住民に屋内退避を指示
	4月22日	警戒区域、計画的避難区域、緊急時避難準備区域を指定
	9月30日	緊急時避難準備区域の避難指示解除(計画的避難区域を除く南相馬市、田村市・川内村・楡葉町の20km圏内外、広野町全域)
	2012年 4月1日	警戒区域、計画的避難区域を「帰還困難区域」、居住制限区域・避難指示解除準備区域へ再編開始(左図参照)
	2013年 1月26日	国道6号に桜の植樹開始(ふくしま街道・桜プロジェクト)
	2014年 2月22日	20km圏内で初めて田村市都路町の避難指示が解除される 4月1日 居住制限区域、避難指示解除準備区域の避難指示解除が徐々に進む 6月1日 JR常磐線、広野-竜田間再開(20km圏内の避難指示解除可能)
	9月15日	国道6号、自動車の富岡-双葉間の通行規制解除。全線通行可能 常磐自動車道、常磐自動車IC-浪江IC間が開通し、全線開通
	2015年 3月1日	復興ふたば未来学園開校(サテライト校を設けていた双葉高、富岡高、双葉期高、浪江高、浪江高津島校は2017年3月で休校)
	4月	JR常磐線、浪江-小高間再開(10月1日 竜田-富岡間再開)
	2017年 4月1日	原発事故対応拠点となった「ワレツギ」が全面再開。「ワレツギ」開業
	2019年 4月20日	帰還困難区域内特定復興再生拠点区域の立入制限緩和開始(双葉町から)
	2020年 3月4日	JR常磐線、富岡-浪江間再開により全線再開
	3月14日	(再開に伴い)「双葉・大野・夜ノ森」周辺が先行解除され、立ち入り自由
	3月31日	福島ロボットテストフィールド(南相馬市・浪江町)
	9月20日	東日本大震災・原子力災害伝承館オープン。復興祈念公園一期開園
	2022年 6月12日	特定復興再生拠点区域の避難指示解除が始まる(葛尾村から順次)
	2023年 春	県道391号(狭野小高線(浜街道))にサイクリングルート開設予定

12市町村 / お役立ち情報リンク

道路情報、放射線情報、医療機関情報、地図など役立つ情報が繋がります。

<https://satellite.net.fukushima-u.ac.jp/g8/information>

「ぐるぐるMAP」は双葉町8町村の復興職員が集う「ふたばの明日を考える会」

双葉町の「今」を知る地図を作りたい! というアイデアから2016年に生まれました。当時は双葉町を訪れ、働き、暮らすために最低限必要なガリソン・スタン・コンビニなどの施設がなく、ネット上には震災前の情報が混在。正確な情報が掲載されているぐるぐるMAPは貴重な情報源となりました。

2022年発行の第7版からは(双葉町8町村と同じく)長期間住民の避難を余儀なくされた川俣町、飯館村、南相馬市、田村市の情報に加え、12市町村を掲載する広域マップになりました。震災から12年、たくさんの人々の力によって進んできた復興の歩みと地域の魅力を伝えたい。ぐるぐるMAPを手に、12市町村をぐるぐる訪れてください。

福島大学地域未来デザインセンター
相双地域支援サイトについて

相双地域支援サイトは、東日本大震災・原子力発電所事故からの復興を支える福島大学の現地拠点として2012年6月に開設されました。大学と現場を行きつぎ、被災地域の復興や教育環境整備の支援などの活動を行っています。